

令和5年度地域づくり懇談会事前通告に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

田中

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	行政の支援を要すること	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
3	海野宿と田中商店街の連携強化	改修後の大屋駅との連携によるレンタサイクル等移動手段の充実	・レンタサイクルの活用拡充を図った大屋駅との連携については、既にしなの鉄道へ打診をしておりますが、現行の大屋駅舎改修計画に含まれていないことから、改修工事の終了後に改めてしなの鉄道及び上田市を含めた協議を行います。	信州とうみ観光協会に委託しているとうみシェアサイクルにおいて、大屋駅前に令和6年4月よりサイクルポート及びe-バイク2台を配置しました。また、海野宿第一駐車場にもサイクルポートがあることから、田中駅を起点とした移動手段として連携が図られ、活用できるものと思慮いたします。	商工観光課

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	関連する重点事業名	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
1	自治会運営のDX化の支援について 区内の情報伝達や区会議等におけるデータ活用等、自治会運営においてもDX化を進めていく必要があると考えるため、それに関する情報提供や機器整備等について市の支援をいただきたい。	デジタル技術の活用による住民の利便性向上と行政運営効率化への取組み	区内の情報伝達等を負担軽減するため、先進事例や自治会アプリ等について、区へ情報提供し、一緒に検討してまいります。	令和6年2月に東御市区長会と共に自治会アプリの活用方法や利用状況などの先進事例の視察を実施しました。 引き続き、視察内容等を参考に東御市区長会と共に自治会アプリやSNSの活用等について、検討してまいります。	地域づくり支援課

当日質問に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	市からの提案に対する再質問	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	市からの提案に対する再質問	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

③その他

	質問・要望等	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし			

令和5年度地域づくり懇談会事前通告に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

滋野

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	行政の支援を要すること	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
1	成立遺跡と周辺の地域資源活用による地域振興	滋野駅・雷電くるみの里等との連携や雷電の活用方法など、地域活動のためのアドバイス(地域おこし協力隊の登用等)	地域資源を活用する取組について、市(地域づくり支援員、地区サポーター、地域づくり支援室)も一緒に検討してまいります。	地域資源を活用する取組を検討していただき、具体的な活動を実施される際は、市へご相談ください。	地域づくり支援課

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	関連する重点事業名	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

当日質問に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	市からの提案に対する再質問	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
1	成立遺跡と周辺の地域資源活用による地域振興	成立石器時代住居跡は昭和8年に国指定史跡となり90年が経過したが、住居跡の浸食が進んでおり、炉跡がどこになるかわからなくなってしまうと国指定が取り消されてしまうのでは。毎年実施される県の調査で指摘があったのでは。地目が農地のままなのは良いのか。	復元住居自体は文化財ではありません。県の調査に係る指摘については確認します。 【補足】令和4年度の県保護指導委員によるパトロールでは、「住居跡は、雨雪等により浸食が進んでいる」との指摘がありました。総合判断として「所有者、管理者に今後も経過を注視していただく」となっています。 地目につきましては、農地の中に史跡(石)がある状況です。	原口区と成立・寺ノ浦石器時代住居跡保存会と協議の場を設け意見交換を行いました。今後、定期的に意見交換の場を設けます。	文化・スポーツ振興課
2	生活環境の保全対策	区内の河川・側溝の清掃や草刈りやりたくても高齢化でできない。山側は特にカバーする範囲が広い。	区長会やしげの里づくりの会を中心とした話し合いに市も入ったかたちで話し合いをしていきたい。 市で全てはできないので、地域美化活動交付金を活用するなどして協力をお願いしたい。人手不足の対応についてはここでは結論は出ないのでこれから一緒に考えていきたい。	市では、公共用地、公道等の定期的な草刈り等を実施している他、令和5年4月に東御市地域美化活動交付金を新たに設け、協力団体の募集を行っており、令和6年7月現在、市内2団体と協定を締結・交付金の交付により、市内通学路など区ではカバーできない場所の草刈りに協力をいただいています。 今後も引き続き、協定団体を増やしつつ、市民と行政との協働による美しいまちづくりの推進に努めてまいります。	地域づくり支援課

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	市からの提案に対する再質問	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

③その他

	質問・要望等	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし			

令和5年度地域づくり懇談会事前通告に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

柅津

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	行政の支援を要すること	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
3	地域を知るため、知ってもらうための看板づくり	設置経費等の補助	看板の内容、設置場所につきまして、事前の相談をお願いいたします。対応可能か検討・調整いたします。	市指定文化財についての看板設置及び補助等につきましては、事業実施前に内容、設置場所等につきまして相談をお願いいたします。	文化・スポーツ振興課

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	関連する重点事業名	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

当日質問に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	市からの提案に対する再質問	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	市からの提案に対する再質問	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

③その他

	質問・要望等	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
せせらぎ公園の整備活用促進	新しい仮設トイレを設置していただいた。御礼申し上げます。 古いトイレは今後どうするのか。竹製の囲いが朽ちていて、木が覆いかぶさっているために余計怖い。	竹製囲いの撤去や、覆い被さっている木を伐採します。	既設トイレの竹製囲いを撤去しました。囲いの撤去により明るくなったため、樹木の伐採は行っていないですが、随時状況を確認し、必要な対応を行ってまいります。	総務課
歴史・文化を活用した地域の活性化	宮ノ入のカヤ 健事神社は現在は実質、西宮区が管理しているので、健事神社ではなく区が相談しても相談に乗って欲しい。	県天然記念物で勝手に伐採できないとしても、枯れ枝が落ちて本当に危険がある場合は県から許可が下りると思う。相談してほしい。	西宮区から相談を受け、県と協議を実施し「危険な枯れ枝や隣接する農地へ出た枝については、剪定可能」との回答を県からいただきましたので長野県天然記念物状変更等届出書を市を経由して県へ提出致しました。	文化・スポーツ振興課

令和5年度地域づくり懇談会事前通告に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

和

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	行政の支援を要すること	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
2	児玉山遊歩道整備	・地域おこし協力隊の支援で発展的な遊歩道整備 ・遊歩道整備に外部からの協力者支援	補助事業を活用した遊歩道整備(里山整備)について、一緒に検討してまいります。	地域おこし協力隊を配置し、森林県民税を活用した遊歩道整備の支援や、地域における園庭・裏山整備等モデル事業による児童の体力向上プログラム等イベントの立企画案、実行支援を行っています。	地域づくり支援課
3	旧和学校記念館周辺の環境整備	・定期的な立木の剪定 ・定期的な記念館の展示資料の解放(県宝の扱いの中で可能な事)	・定期的な立木の剪定に努めます。 ・展示されている歴史資料、収蔵用具は、地域主体で収集と展示を行ってきた経過があります。所有も市ではないことから、管理や活用につきまして、和地域づくりの会や旧和学校校舎(記念館)管理委員会、和小学校等とも相談しながら行います。	・立木の定期的な剪定を本年度も実施いたします。 ・和記念館展示資料の解放につきましては、和記念館管理委員会等と都度協議を行い進めております。	文化・スポーツ振興課

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	関連する重点事業名	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

当日質問に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	市からの提案に対する再質問	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
2	児玉山遊歩道整備	遊歩道整備するため、森林税を活用した県補助金の申請事務を地域おこし協力隊員に協力してもらいながら進めている。補助金で賄えない地域の負担に対して市の支援をしてほしい。	長野県の森林づくり県民税活用事業の事業計画を提出するところとお聞きしている。県補助金で不足する部分を市が支援する仕組みは現在のところありませんが、他の地域が同様の取り組みをする場合の先進事例になる可能性があるので、相談させてほしい。	当日回答のとおりです。	農林課
3	旧和学校記念館周辺の環境整備	収蔵農具の見直しとあるが、市から業務委託を受けている和記念館管理委員会があるので、和地域づくりの会ではなく、管理委員会が主となり整理をおこなって欲しい。	委託契約の内容・金額・管理委員会メンバーなどを確認し判断したい。	維持管理については、和記念館管理委員会に引き続き本年度も委託しております。資料の整理については、和記念館管理委員会と協議を進めてまいります。	文化・スポーツ振興課

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	市からの提案に対する再質問	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

③その他

	質問・要望等	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし			

令和5年度地域づくり懇談会事前通告に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

北御牧

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	行政の支援を要すること	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
1	【少子化対策について】 Uターン促進対策としての東御市情報の発信強化について	・東御市外へ転出して生活をしている社会人や学生に向けて、東御市の情報をこれまで以上に強化・継続して発信していったらどうでしょうか？ ・具体的方策としては、SNSを利用しての情報発信が有効な時代趨勢なので、情報の受け手の登録者を募り、東御市のイベント・就職情報・空き家情報・お知らせなどをビジュアルを重視した、親しみやすく平易な画像情報として継続的に発信していくことが善策と思われます。それらの継続的な情報を受け取ること東御市外で生活をしている社会人や学生にとっては、ふるさと「の」ほどよい田舎暮らしの良さが共感できて、ふるさととの関りが発展的に展開していくのではないのでしょうか。	・市では市報のほか、Facebook、LINE、YouTubeなどのSNSで東御市公式のページを創設し、行政情報や市の魅力発信などを行っています。またSNSを活用した魅力発信については、ビジュアルを重視した発信など、いただいたご意見を含め検討してまいります。	SNSを活用した情報発信手段のうち、市公式LINEが登録者数約10,800人で最も多く活用されている媒体であることから、今年度に移住定住やふるさと納税などに関する市外向け情報発信機能を追加し、市外で生活している皆様への情報発信を強化してまいります。	企画振興課
	【少子化対策について】 移住・定住の具体的な促進施策について	(1)リフォーム補助事業の新設 リフォーム工事の20%を補助対象額とし、補助額の上限を20万円とする。 (4)移住体験住宅の整備 東御市内の空き家を市が借り上げて、お試し移住体験ができる住宅を北御牧地区に整備する。	(1)リフォーム補助事業の新設 空き家バンクへの登録を前提に、令和6年度より移住者向けに空き家のリフォームに対しての補助金の新設を検討しています。 (4)移住体験住宅の整備 令和5年1月より和地区で移住体験交流施設が共用開始となっています。この施設で「とうみくらし」を体験し、実際に東御市へ移住してきた方もいることから、移住体験住宅の活用は有効であると考えています。北御牧地区にも移住体験住宅として活用できる物件があれば、検討していきたいと考えております。	(1)リフォーム補助事業の新設 令和6年度より、移住者が空き家バンクに登録された物件を購入することを条件に、最大80万円を助成する空き家リフォーム補助金を創設しました。 (4)移住体験住宅の整備 当日回答のとおりです。	企画振興課
2	地域相談窓口機能を担う集落支援員の配置について	総務省では、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携して地域課題の解決にあたる「集落支援員」制度を創設している。この制度を活用し、協議会の事務局活動を担う「地域づくり支援員」と地域相談窓口機能を担う「集落支援員」の2名体制により地域づくり活動をバックアップいただきたい。	現行の地域づくり支援員は、「集落支援員」制度を活用し、協議会の事務局活動及び、地域相談窓口機能を担っています。この地域づくり支援員に加え、地区サポーター、地域づくり支援室といった体制がありますので、まずは、地域の皆さんと話し合う機会を設けることで、課題に対してどう向き合っていくか、一緒に検討してまいります。	支援員の配置については、当日回答のとおりです。 今後、地域課題の聞き取り等について話し合いの場を設けたいと考えています。	地域づくり支援室

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	関連する重点事業名	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
1	防災対策の推進及び防災システムの構築について 2. 避難所の避難状況が分かるシステムについて 19号台風のとき避難した避難所の利用者が多く、やむなく避難所駐車場の車の中にいたという方がいました。避難所の避難状況を知らせるシステムの整備をお願いします。 4. ラジオ電波中継局の増設整備について 災害発生時は防災ラジオが情報の伝達媒体として有効であるが、北御牧地区山間部においては雑音が多く内容が聞き取れない場所が多数認められる。このような状況を解決するため中継局の整備をお願いします。 5. 防災ラジオの活用について 隣接する小諸市、佐久市の防災無線から行方不明者、火災発生、行事の実施・中止など様々な情報が聞こえてきます。東御市でも防災ラジオの使用範囲の拡大をお願いします。(中野市4人殺害事件のような犯罪発生時なども)	安全、安心の社会基盤が支える暮らしやすいまち 災害に強い地域づくりの推進	2. 避難所の避難状況が分かるシステムについて 全国的に見ますと、避難場所の開設・混雑状況をリアルタイムに伝えるシステムを導入している自治体もごさいますが、実績が少なく、「停電時」や「通信環境」が被災した場合などに運用できるのかといった課題等についても洗い出していく必要があると考えておりますので、今後の他自治体での普及状況などを参考としつつ検討してまいります。	システムの導入につきましては、現在も自治体での導入事例が少なく、また県内自治体の普及も進んでいない状況ですので、今後の普及状況などを参考としつつ、引き続き調査研究に努めます。	総務課
			4. ラジオ電波中継局の増設整備について 具体的な難聴区域を教えていただき、現地調査を行ったうえで、必要な措置を講じてまいります。	令和5年度の懇談会終了後、現地調査を行いました。電波が受信できない原因は、古い旧型ラジオの故障であったため、新しいラジオに交換しました。	企画振興課
			5. 防災ラジオの活用について 気象の特別警報など緊急情報が発令された際は、防災ラジオが強制的に自動起動し、放送する仕組みとなっています。行方不明者、火災発生、気象の警戒警報等は、メール配信と併せて、ラジオの中で放送を行っています。行事の情報についてもラジオなどでお知らせを行っています。緊急情報の拡大については、状況により検討いたします。	当日回答のとおりです。	企画振興課
3	役員のなり手不足について 少子高齢化による若者の減少、就業期間延長(70歳位まで就業)などで役員のなり手不足になり、自治会等の運営が困難となってきています。区として役員の仕事内容や組織体制を見直す事はもちろんですが、自治体活動の見直し、役員の負担軽減の検討をお願いします。	地域づくり協議会等の市民活動団体への人的、財政的支援 デジタル技術の活用による住民の利便性向上と行政運営の効率化への取り組み	自治体からの広報や回覧物の配布等、役員の負担を軽減するための、先進事例や自治会アプリ等について、区へ情報提供し、一緒に検討してまいります。	令和6年2月に東御市区長会と共に自治会アプリの活用方法や利用状況などの先進事例の視察を実施しました。 また、役員負担軽減に関する取組については、市役所関係各課で構成する庁内検討会議で負担軽減案を作成し、各地区の区長会長と協議を行っています。	地域づくり支援課

当日質問に対する進捗状況 ※市からの提案のうち、協議、検討等の表記をした事項のみ抽出しています。

①地域ビジョン実現のための要望

番号	テーマ	市からの提案に対する再質問	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
1	少子化対策について	少子化対策については当会議で5年連続で取り上げており、非常に危機感を抱いている。このまま少子化が進むと北御牧の美しい田園風景やインフラが守られなくなり、クラス替えがなく、高校ギャップになりかねない。人口増のためにはUターンが大事。	地方回帰はコロナ禍を経て少しずつ進んでいると捉えている。移住者は30～40代の子育て世代が増えてきた。テレワーク・二拠点居住で都会に職場があるまま移住される方もいる。 移住者が移住先に求めるものは「就労」「自然環境」「住むところ」とのことなので、今後もニーズを踏まえ、Uターンしてもらえるような施策を行っていく。地域の皆さんと一緒に考えていきたい。	市では、首都圏や市内での移住相談、市周辺での就職をサポートする就業支援、UIJターン就業・創業移住支援金の支給など移住施策に取り組んでいます。併せて、空き家バンクを活用した住まいの紹介も行っています。 Uターンが増えるよう、今後も移住促進に努めてまいります。	企画振興課

②令和5年度市政、施策等に対する要望

番号	要望内容	関連する重点事業名	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
	該当なし				

③その他

	質問・要望等	市からの回答(内容)	令和6年7月時点の状況	担当課
融雪剤の散布量について	御牧原～佐久の道より、御牧原～島川原の道(北傾斜)の方が融雪剤の散布量が少ないのでは。	融雪剤は市が業者に委託し散布している。量については確認する。	融雪剤散布について、除雪路線の市内幹線道路、日陰等のうちアイスバーン状態になりそうな危険箇所を重点的に散布しており、業者に確認したところ、標準的な量を散布しているとのことです。 島川原御牧原線については、日当たりが悪い北側傾斜であることや地域づくり懇談会でのご意見を踏まえ、令和5年度は従来よりも散布量を2倍程度増やしました。 引き続き、冬期における気象や路面の状況確認を行い、安全・安心な道路環境の維持に努めてまいります。	建設課